

# 「くまの木」ヒトとムシの楽園プロジェクト

会報ムシプロ第5号

2017年7月



オオムラサキ (タテハチョウ科)

## 目次

1. 6月活動報告 . . . . . 2
2. 7月活動について . . . . . 3
3. ムシプロだより . . . . . 4
4. 自然の楽しみ方 (梅雨・夏) . . . . . 5
5. 事務局より . . . . . 6
- 今月の表紙 . . . . . 6

## 1. 6月10日（土）、11日（日）の活動報告

2017年第二回活動を6月10日、11日に行いました。スタッフ5人を含めて16人が参加しました。

10日は、花壇の整備（雑草取り、ブッドレアの剪定、百日草の植え付け）とモリアオガエルの観察を行いました。

花壇は「ムシトリナデシコ」のピンクの花が見ごろを迎えていて、カラスアゲハ、ヒョウモンチョウの仲間、モンキチョウなどたくさんの蝶が訪れていました。ムシトリナデシコ、カラミント、フジバカマに覆いかぶさるように伸びているスギナなどの雑草を取り、百日草を植えました。また、ブッドレアは、枝が混み合っているところを剪定して形を整えました。これからは、百日草、ブッドレア、カラミントの花も加わり、さらにたくさんの蝶が訪れるでしょう。

モリアオガエルの観察は、夕食後からですが、生息環境、観察ポイント、危険箇所等を確認するため下見を行いました。

観察場所の池に行くと、モリアオガエルの卵塊が多くついている木でモリアオガエルが産卵していました。一回り大きいメスにオスがしがみつき白い泡が固まりになっていく様子をじっくりと観察することができました。夜の観察では、カジカガエルの鳴き声やモリアオガエルの鳴き声を確認しました。

夜の観察・採集では、慣れた場所でも明るいうちに下見をして生息環境、観察ポイント、危険箇所等を確認しておきましょう。

10日の活動の様子



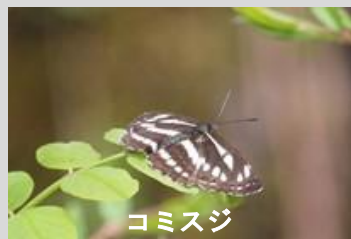
モリアオガエルの産卵



モリアオガエルの卵



アサマイチモンジ



コムスジ



懇親会

11日は、第一及び第二ビオトープの生き物観察を行いました。4月の活動の時は、整備により水を抜いていたため、観察が出来ませんでしたので今回どのような生き物が観察できるか楽しみでした。コオイムシ、クロゲンゴロウ、アカハライモリなど水が抜かれる前に観察した生き物が戻ってきていることが確認できました。

11日の活動の様子



10日、11日の画像は、以下のアドレスをクリックしてパスワードを入力してください。

<https://opa.cig2.imagegateway.net/s/cp/CACkfQrw8NE>

パスワードは、2017061011 です。

## 2. 7月8日（土）の活動について

花壇、ビオトープの整備と「県民の森」散策路を散策します。

### ■ 花壇、ビオトープの整備

6月の活動で花壇の雑草とりをしました。一か月も経つとまた雑草が勢いよく伸びていると思います。

植栽した植物に十分に陽が当たるように雑草をとります。また、第二ビオトープの田んぼに隣接する部分の雑草もとります。

時間があれば、東荒川河川敷のヤナギの木を見に行きましょう。

### ■ 栃木県民の森散策

栃木県民の森の「宮川溪谷歩道」を散策します。川に沿って整備された散策路です。自然林の葉が太陽光線を遮ることと川を流れる水により散策路の中に入ると涼しく感じます。

当日は、散策路起点から下流に向かって歩きます。折り返し地点で折り返して往復約60分の行程です。

散策路を歩きながら里では見られない植物や鳥の囀りを楽しみましょう。



散策路入口



コアジサイ



ギンリョウソウ

### 3. ムシプロ日より

#### ① スタッフの近況

蛾を見ると目がキラキラと光る「蛾屋さん」である高野さんの近況です。水棲昆虫（コオイムシ・タガメなど）の飼育に取り組んでいます。また、生き物の他に音楽も好きでエレキベースを弾いています。

大原さんのザルトラップに刺激を受けて、材料を集めてトラップを作ってみました。（写真1）

仕組みは市販のお魚キラーとほぼ同じなのですが、お魚キラーとの違いは、①開口部に返しを設けたので一度入った生き物が逃げにくい。②開口部の一つを水面付近に持つてくることでアメンボなども狙えることです。

返しの部分は園芸用の鉢底ネットをくさび形に切り、結束バンドで縫って作りました。（写真2）

写真には写っていませんが、ウキ（蓋をした空のペットボトル）も用意します。水深や抽水植物のあるなしに応じて1、2個入れます。仕掛け全体が水中に沈んでいると、空気を必要とする昆虫は溺れて死んでしまいます。仕掛ける時は、二つある開口部の一つが水中に、もう一つが水面にくるように調整します。

ゴミと間違えられないように私は調査中と連絡先を書いた札をつけます。

（写真3）

ある場所で煮て食べられるほどのクロゲンゴロウが採れました。（そのつもりはないのでリリースしました。）

（写真・文 高野 名保子）

トラップを作ってみました。

トラップは、必ず回収しましょう！

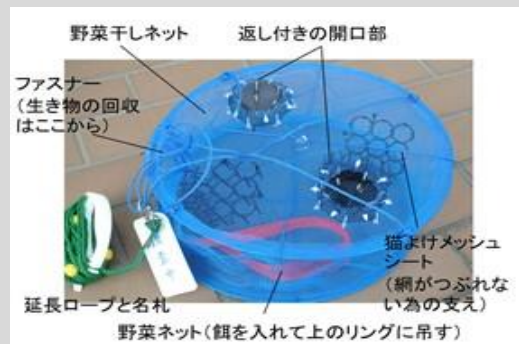


写真1



写真2



写真3

## 4. 自然の楽しみ方（梅雨・夏）

### ● ムシたちの夏（夏空の舞い手達Ⅰ）

梅雨の後半になると雨がとつぜん止む、空を見上げると雲の切れ間に青空が見える。梅雨あけが（夏が）近いことを感じる瞬間だ。

夏になると蝶を見ない日はないぐらい多くの蝶を見るようになる。花を訪れるもの、忙しく地表付近を飛び回るもの、雑木林の縁を飛び回るもの、樹冠を飛び回るものなどだ。特に雑木林の縁を忙しく飛び回っているアゲハの仲間に注目してほしい。2頭が出会うと突然くるくると回りながら空高く昇っていく。これにもう1頭加わり3頭になることもある。そして突然急降下をする。これは、オスのメスに対する求愛行動であるが、蝶が夏の到来を喜び、舞っているように見える。

また、樹冠を飛び回る蝶の様子も面白い。家のベランダや2階の窓から雑木林の上空（樹冠）を見てほしい。アオスジアゲハ、キアゲハやタテハチョウの仲間が追ったり、追われたりして空中戦を繰り広げている。こちらも見ている飽きない。

（写真・文 西野 孝法）



コムスジ

翅をあまり動かさずに滑空するように飛ぶ。時には、空中に静止することもある。とても優雅でカッコイイ



夏空に舞う2頭のアゲハ



1頭は翅がかなり傷んでいる、たぶんオスだ。



アオスジアゲハ



ゴマダラチョウ

## 5. 事務局より

会報の「表紙」と「自然の愉しみ方」で紹介した画像をイメージゲートウェイに登録しています。Wordに貼りつけてある画像より綺麗です、ご覧ください。アドレスは以下のとおりです。パスワードは、必要ありません。

<https://opa.cig2.imagegateway.net/s/cp/DMCYuTBGLSE>

画像はダウンロードできます。

2017年7月1日発行

発行： くまの木ヒトとムシの楽園プロジェクト

編集責任者： 西野 孝法

〒262-0026 千葉県 千葉市 花見川区瑞穂3-3-26

TEL: 090-9327-5606

Eメール：[harukan@ac.auone-net.jp](mailto:harukan@ac.auone-net.jp)

### 今月の表紙

#### オオムラサキ（タテハチョウ科）

- ・日本の国蝶、幼虫で越冬、年1回発生
- ・夏の雑木林の代表、オスは、美しい青色の翅を持つ。メスの翅は褐色で地味だが、体はオスよりも一回り大きく迫力がある。
- ・樹液を巡る戦いでは、カブトムシやクワガタムシには敵わないが、カナブンや他の蝶を翅をパッ！と開いて叩き追い払う。



今から40年前の夏、生物部の合宿（福島県）でオオムラサキと出会った。彼は、木の高いところで葉の上に止まって縄張りを見張っていた。都会育ちの部員たちは、「採りたい」「近くで見たい」などと興奮していた。しかし、手持ちの網の柄は、2メートルほどしかなくとてもオオムラサキの止まっているところに届かない。このまま「諦める」ということも出来ず思案していたところ、以前にオオムラサキが縄張りに侵入してきた鳥を追い払ったことを思い出した。この習性を利用してオオムラサキの目の前に石を投げて誘い出して採ろうと考えた。石を投げると彼は、石に向かって飛び立った。そして大歓声が上がった。（写真 吉田 義秀・文 西野 孝法）